



戦争法廃止2000万署名に協力する中学生11日、静岡市葵区

「愛する人を戦場に送らない」

女性コールに 若者「私も」

静岡市葵区で11日、戦争法廃止を求める2000万署名を呼びかけると、祝日で繁華街に遊びに来ていた中高生たちが次々と署名し、1時間で214人が集まりました。戦争法は許しません女性のレッドアクション静岡実行委員会の主催。

静岡

新婦人、保育士、看護師、教師、国賠同盟、労組のメンバーら50人の女性が赤いものを身につけ、「誰の子どもも殺さない」、「安倍政権の暴走止めよう」などと元気にコール。日本共産党の鈴木ちか参院選挙区候補も、

広げよう
2000万署名

「憲法は国民を縛るものでなく、権力者を縛るものです。憲法違反の戦争法を強行採決した安倍政権にレッドカードを突き付けましょう」と訴えました。

「愛する人を戦場に行かせないため署名を集めています。このままでは、あなたが戦場に行くことになる。反対の声を国会、政府に届けましょう」と話す中、戦争法について知らなかった青年も、「戦争は嫌です」と、こぞって署名しました。

高校3年生のカップルは「戦争が始まったから若い人が戦場に行くことになる。結婚などして将来は幸せになりたい。おとなになった時に安全な生活が送れないのはダメです」、「今のままの平和な日本であってほしい。戦争しない国のままがいい」と話しました。

女子高校生は「軍事費なんかより原発をなくすことや、福島原発事故の被災者を救済するようなことにお金を使ってほしい」と署名。女子中学生3人組は「戦争に行くのは一般人。人ごとのように法律を決める安倍首相は勝手すぎる」、「なんで戦争するのか意味がわからない」と語りました。